

センター通信

発行所 社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会

広島市就労支援センター

TEL (082) 537-1331

FAX (082) 537-1332

E-mail: si-jusan@gaea.ocn.ne.jp

http://h-shisyurou.jp/

2017年6、7月〔第238号〕

Create(創造), Challenge(挑戦), Collaborate(協働)を大切に

第37回FFふれあいの広場（第41回ひろしまフラワーフェスティバル）

毎年5月3日（水）～5日（金）に開催されるフラワーフェスティバル、国際会議場の前の緑地帯で開催される「ふれあいの広場」は第37回を迎え、今年のテーマは「笑顔で明るく、ふれあいの広場」でした。

3日のパレードから始まり、3日間のマーガレットステージ、広場での障害者就労支援施設による出店販売と「綿菓子」、「お茶席」、「お好み焼き」、「飲み物」の販売は恒例になっていますが、多くの方に来ていただくために昨年からはじめました「スーパーボールすくい」、今年の天候を気にしつつ、思い切ってかき氷販売をはじめました。これがよかったのかもしれませんが、三日間晴天でした。

数年前から始めた、出店事業所でお買い上げいただいた方々への三角くじの抽選では、A賞はサンフレッチェ・ペア観戦券、ホテルのランチ・ペア券、イオンからの飲み物1ケース、B賞はカープ選手のサイン色紙、そして、C賞は昨年人気だった出店事業所寄贈による多種類の商品でした。残念賞は飴玉です。抽選に来られた方々に大いに楽しんでいただきました。ここで本当にあった話の一つ、実は最後の1枚の三角くじがB賞最後のサイン色紙で、カープファンの小学生が獲得しました。今年は、売上向上を目指して、お茶席と事業所紹介コーナー兼抽選会場の場所を交換しました。これらで得た収益は、来年度の運営費の一部になります。出店事業所も頑張りましたが、例年通りの準備だったので、3日目には商品が足りなくなった事業所もありました。とはいえ、売上は増収、これもお天気と皆様のご協力のお陰です。ありがとうございました。



つくし工房 新店舗 開店

つくし工房がお菓子作りを始めて15年になります。

当初は、古い民家の一室で数人が細々と作業をしていました。次第にお菓子作りをする人が増え、手狭になるたびに転居を繰り返し、このたび20人でも余裕をもって作業できる大きさの作業場が出来上がりました。設備も充実し、快適に作業ができるようになり皆張り切って仕事をしています。

これまでは注文製造が主で、その他で、地域のバザー、公共施設での販売、委託販売を行っていました。幼稚園や子供会の記念品、結婚式の引き出物、季節の贈り物などいろいろなところでご利用いただいています。遠く県外からのご注文にも応じています。毎年決まってお注文下さる方が増え、大変うれしく思っています。



自分たちのつくったお菓子をもっともっとたくさんの人に知ってもらい、もっともっとたくさんの人に食べてもらいたい、そのために自分たちのお店がほしいと長年希望していました。その強い希望が叶い、夢の店舗を作業場の一角に構えることになりました。幸いにも大きな道路に面して駐車スペースも4台以上あり近隣には携帯ショップや美容院、音楽教室などもあって人通りも多く営業するには申し分のないところです。

まずは、4月27日のプレオープンに向けて改修工事を終え、白を基調として木目を活かしたおしゃれな店舗に合わせておしゃれなエプロンや帽子も用意しました。ディスプレイもかわいいものを、手提げ袋も素敵なものを…あれこれ考えることがたくさんありましたが楽しい作業でした。

お近くにお越しの折はぜひ一度お立ち寄りください。クッキーを焼く「甘いにおい」と、「とびっきりの笑顔」がお待ちしております。
(管理者 岩木 貴志)



住 所：広島市安佐北区亀山2丁目2-1-29 ☎：082-815-0355

営 業 日：毎週月曜・木曜日（祝日を除く）

営業時間：10：00～15：30（商品受け渡しは16時まで）



平成28年度 販路開拓・技術支援事業報告
～多機能型事業所古の市の新製品～

この事業は、広島市中心身障害者福祉基金（尾崎基金）の助成金で実施しました。

●アドバイスを受けた理由

古の市では、駄菓子・雑貨等の店舗販売を中心に、清掃や請負作業などもやっていますが、まだまだ工賃アップのため収益をあげていく方法が手探りの状態でした。古の市オリジナル製品はあるものの、収益をあげていけるようどのように製品化していったらよいか、何かヒントをいただけないか、というところが相談のきっかけでした。

●実施内容

☆アドバイザー：ペクトリード代表（セールスレップ） 加藤 秀樹氏

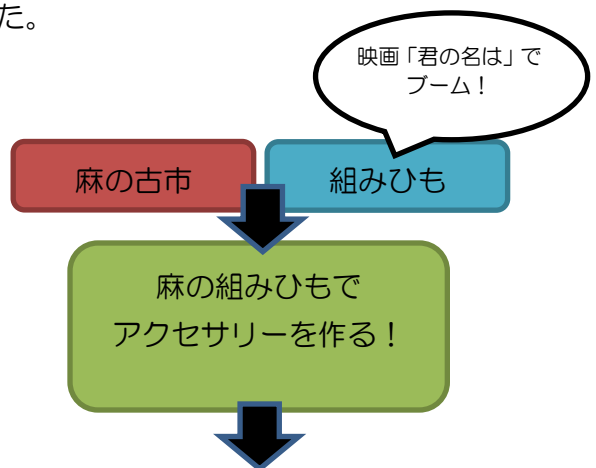
☆2016年8月から2017年2月まで、毎月計7回古の市にて相談実施

☆2017年2月22日（水）全体研修会（販路開拓事業報告会）

相談開始当初は、我々職員が既存のオリジナル商品に拘りすぎていたり、「アドバイザーさんが現在のあるもので何かヒントをくれるのではないか」という受け身的な姿勢が強く、話が堂々巡りするばかりでした。「古の市の強みとは何か」「他の事業所ではできない古の市独自の“ストーリー”をみつけよう」という加藤さんからのアドバイスをうけ、スタッフ一同知恵を出し合ったり、地域のことを調べていく中で、「麻の古市」に行きつきました。

麻の古市とは

安佐南区古市は、江戸時代から交通の要所であり、麻を仕入れ加工し、輸出する産業が栄え、「麻の古市」と呼ばれるほどでした。戦後化学繊維の輸入により今は衰退してしまいましたが、今でも麻産業の影響が古市には残っています。ちなみに、バレーボールで有名になった猫田さんも古市の出身で、煮出した麻を干すロープをネットにバレーボールの練習をしていたそうです。



【キーホルダー】
高級感を意識!



【ジップル】既製品に追加
してオリジナル服に!



【髪結紐】「君の名は」
と「紐」を追求!



【神楽グッズ】麻紐と神
楽もコラボ中です!

まだまだ製品の質やパッケージなど、固めていくところはたくさんありますが、「麻の古市」のストーリーとともに、「麻のアクセサリィ」を広めていきたいと思えます!

(管理者 伊野 有美子)

平成 29 年度第 1 回広島市就労支援センター運営協議会の報告

5月8日に育成会総合福祉センターにおいて、当センター運営協議会第1回定例会を開催し、平成28年度の事業報告及び収支決算が承認されました。広島市からの委託事業である当センターでは、納品販売等による手数料等の収益が一切ないため、各事業所が製作した商品の販売をお願いしている店舗等への納品額、イベント支援を行った各事業所の売上額などの合計を取扱額としています。昨年度の実績は、その前の年度に比べて3%の増額（店舗委託販売は前々年度比112.9%、イベントでの売上額は前々年度比96.2%）でした。対費用効果は1.75（前々年度1.7）でした。取扱額の中に含んでいませんが、11企業様から下請仕事の受注があり、21事業所へ斡旋しました。また、これらとは別に、社会実験として実施している千羽鶴ファクトリーでは、広島市へ納品しました千羽鶴再生紙絵葉書の収益金がファクトリー・チームの事業所へ分配されました。

広島市役所 1 階ロビー、安佐北区(区役所、総合福祉センター) 出店販売

6月、7月の出店販売日は下記のとおりです。パン、クッキー等の食品を中心に販売しています。販売時間は12:00~13:00です。昼食とか、残業時の間食に是非ともご購入ください。皆様のお越しをお待ちしています。

広島市役所 1 階ロビー（東側）				
出店販売日		事業所（1）	事業所（2）	事業所（3）
6月	6日	SOAR きつつき広島	おりづる作業所	ワークハウススマイル
	13日	未来館	アイサンサン作業所	みのり作業所
	20日	広島皆賀園	アイラブ作業所	すまいるスタジオ
	27日	広島どんぐり作業所	元気工房やる気まんまん	りらくす
7月	4日	SOAR きつつき未来館	おりづる作業所	かざぐるま舎
	11日	未来館	安芸の郷	なないろ作業所
	18日	もみじ福祉会	スーリール	つくしんぼ作業所
	25日	広島皆賀園	元気工房やる気まんまん	アイラブ作業所

出店販売日		安佐北区役所 1 階ロビー	安佐北区総合福祉センター 2 階
6月	6日	お菓子工房エール	—
	13日	つくし工房	亀崎夢ひろば
	20日	可部つちくれの家	お菓子工房エール
	27日	亀崎夢ひろば	可部つちくれの家
7月	4日	お菓子工房エール	つくし工房
	11日	つくし工房	亀崎夢ひろば
	18日	—	お菓子工房エール
	25日	亀崎夢ひろば	可部つちくれの家

記事にする話題、情報がありましたらお知らせください。